

第4次京田辺市総合計画 基本構想（案）に係るパブリックコメントの結果

パブリックコメント概要（結果）

- (1) 意見募集期間 平成31年3月1日（金）～平成31年4月1日（月）
- (2) 意見募集方法 持参、郵送又は電子メール
- (3) 意見提出者 14名
- (4) 意見の数 35件
- (5) 意見への対応内訳

対応区分	件数
計画に追加、または修正するもの（追加・修正）	2件
計画に趣旨を記載済みのもの（趣旨記載）	3件
計画の実施段階で参考とするもの（参考）	11件
その他	19件
合計	35件

No	主な関連箇所	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
1	策定にあたって・総合計画の目的	<p>基本構想の目的について・・・「これまで進めてきたまちづくりを継承し、さらなる推進と深化のために、様々な社会情勢の変化や時代の潮流、直面する課題などに的確に対応した新たなまちづくりの指針とする。」とあるが、さらなる推進と深化（進化の間違いではないか）のために、これまで進めてきたまちづくりを継承するのではなく、全面的に見直しを行うことが必要で、その中で使えるものは使えば良いのではないかと。</p>	その他	<p>本市においては、30年以上にわたり、一貫して「緑豊かで健康な文化田園都市」を都市像に掲げ、まちづくりを進めてきた結果、今も人口増加が続いており、また、これまで実施してきました市民満足度調査においても、総じて市民の評価が高くなっています。</p> <p>今後も、これまでのまちづくりを継承した上で、新たな課題解決に取り組んでいきたいと考えており、さらに都市格を高めていくという意味から「深化」という表現を使用しています。</p>
2	基本構想・将来人口	<p>第3次総合計画においては、「平成32年(2020)の人口フレームを8万人と設定します。」とあるが、将来人口は、時期・人数共に未達成に終わっており、P.D.C.Aのチェックがなされないまま、第4次総合計画において、「平成42年に約78,000人になると推計されています。一省略一人口フレーム80,000人のまちづくりを進めていくこととします。」としている。</p> <p>今回の推計手法はコーホート要因法を使っているが、前回は使わなかったのか？使ったとしたらなぜ違いが出たのか？同じ期間の推計値によく使われている「国立社会保障・人口問題研究所」のデータもあるが、全体に、京田辺市の方が多い推計値になっている。</p> <p>第3次総合計画をチェックして未達の原因と採った対策の記述を盛り込むべき。</p>	追加・修正	<p>前回の推計方法としましては、国勢調査の人口をベースに、開発人口等を考慮した、コーホート法の他に複数の統計学的手法により人口推計を行った結果、人口フレームを8万人と設定したものです。</p> <p>この間、全国的な人口減少が進んできたことに加え、人口フレームに含まれている市内北部や南部での計画的な住宅開発の動向の変化や、平成25年の同志社大学文系学部の移転等があったところです。</p> <p>いただきましたご意見を参考に、基本構想p3、将来人口の文中に下線部分を追加・修正いたします。</p> <p>「本市は、第3次総合計画において、人口フレームを80,000人としたまちづくりを進めてきました。</p> <p>本計画の策定にあたり人口推計を行った結果、全国的に人口減少が進むなか、本市では、利便性の高さや子育て支援の充実などにより、<u>今後も、市北部や南部で計画的に進められる住宅開発地等へ</u>子育て世代を中心に転入が続き、10年程度は人口が増加し、令和12年（2030）に約78,000人になると推計されています。</p> <p>この推計結果を踏まえ、本計画期間（R2～R13）においても、人口フレーム80,000人のまちづくりを進めていくこととします。」</p> <p>なお、本市においては、大学生が多いことや民間の住宅開発の動向等を踏まえて独自に推計を行っているため、国立社会保障・人口問題研究所の推計結果と異なっています。</p>

No	主な関連箇所	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
3	基本構想・将来人口	<p>将来人口推計に基づき本計画期間（H32～H43）の人口フレームを80,000人としたまちづくりを計画しているが、鉄道、道路の交通利便性、並びに良好な住生活環境などにより、将来の人口規模を100,000人程度に拡大してはどうか。</p> <p>将来の新幹線計画や学研都市線の複線化を見越したまちづくりの観点より、地域経済の活性化とまちの賑わいも期待され、工業、流通機能の拡充に伴う企業の誘致も相俟って雇用の創出や設備投資を通じた税収の増加が見込まれる。少子高齢化の緩和及び将来の財政基盤の充実と強化には税収の確保が必須である。</p> <p>100,000人規模を達成するためには、それなりの努力と共に交通利便性や良好な住生活環境などを積極的に情報発信すると共に人と企業の取り込み施策が必要である。</p> <p>人口100,000人規模でも市街化調整区域の割合（現状75%）を大幅に割り込まずに達成可能と考えられ、緑豊かで健康な文化田園都市の機能、風情は十分保てるものとする。また、将来の広域行政の要となる体制を整える検討と共に基本インフラ（道路、建物、上下水道配管など）の処理能力のチェック及び必要に応じた見直しは論を待たない。</p>	その他	<p>本市の将来人口につきましては、令和12年（2030）の約78,000人をピークに減少していくものと推計されています。</p> <p>そのような状況の中においては、現状の居住エリアの人口密度を維持することにより、人口減少の中でも生活サービスや地域コミュニティを持続的に確保するという取り組みが必要となります。</p> <p>ご意見でもいただいておりますが、本市の魅力である鉄道、道路の交通利便性と良好な住生活環境をさらに生かすことで、本計画においては80,000人の人口フレームを維持してまいりたいと考えています。</p>
4	基本構想・将来都市構造	<p>将来の都市構造と北陸新幹線について・・・本案では、北陸新幹線の松井山手新駅の設置を前提にしているが、京都駅の構造等を考えた場合、松井山手に新駅が設置されたとしても、松井山手・京都間を利用する人は極めて少数と推察できる。</p> <p>市民にとって利用し難い北陸新幹線に莫大な負担を強いられる事は確実であり、市は将来に渡って持続可能な行財政運営の推進を図らなければならないことから、北陸新幹線松井山手新駅設置について除外してはどうか。</p> <p>本市にとって松井山手新駅が必要とされるならその理由を客観的に理解出来るように説明下さい。</p>	その他	<p>北陸新幹線については、全国新幹線鉄道整備法に基づき国家プロジェクトとして進められているものであり、ルート決定に際しては、費用対効果や本市の地域開発潜在力等を基に、松井山手新駅設置が決定され、本市としましても企業立地や地域経済の活性化等の新幹線整備効果が期待できるものと考えています。</p> <p>地方負担金につきましては、新駅の位置やルートが決まった後、法律等に基づき示されるものと考えますが、地方債の充当や元利償還金に対する地方交付税措置があるほか、固定資産税等の直接的な税収効果も見込まれるところです。</p> <p>今後、市民の皆さんの声もお聞きしながら、北陸新幹線の新駅設置のインパクトを市全体の活力に生かせるように準備を進めていきたいと考えています。</p>

No	主な関連箇所	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
5	基本構想・将来都市構造	<p>都市構造の考え方の3項目「さらに、新名神高速道路の---取組みを進め、広域的な結節点として発展を図ります。」の部分に続けて「---広域的な結節点としての発展を図り、<u>山城地区の中で「行政の広域化」（中核都市・広域行政圏など）の研究・検討を進めます。」</u>としてはどうか。</p> <p>京田辺市は2030年まで人口増加が続くが、近隣の他の市町村は人口減少対策を模索しているのが現状である。いずれ国や京都府から色々な形での広域行政の指導があるはずであり、自治体として体力のある今のうちに、広域行政に関して、十分に良い方法を検討しておくべきである。</p> <p>特に、①中核都市(30万人以上)への移行、②市町村を残したままの広域行政圏のメリットデメリットの検討、③定住自立圏の研究、が必要であり、①～③以外にも、国・府の方針を注意深く情報収集し、主体的に近辺市町村と協議をしながら、将来の総合計画づくりに盛り込む準備をしておくことが必要である。</p>	その他	<p>本計画においては、北部・中部・南部の3つの拠点を中心に、自然と調和したコンパクトな都市構造を維持し、持続可能なまちづくりを進めていくこととしています。</p> <p>なお、産業振興や観光振興等の特定の分野においては都市間連携が必要であると考えており、広域的な課題解決のほか、本市の強みをさらに生かしていくため、関係自治体との連携を強化することにより、効果的・効率的な施策の実施に取り組むこととしています。</p> <p>また、人口減少をはじめ様々な行政課題の解決に向けて、国・府の方針等について情報収集を進めるとともに、AIなど新しい技術の活用にも注目していきたいと考えています。</p>
6	基本構想・将来都市構造	<p>将来の都市構造と道路網の矛盾について・・・広域幹線道である新名神高速道路、第二京阪道路、京奈和自動車道のインターと市の都市計画道路は決してうまく接続されているとは考えられず、市の北部・中部・南部の3拠点とされる地区との接続についても不自然であることから、都市計画道路網について基礎から考え直す必要があるのではないか。</p>	参考	<p>基本構想p11、(5)「活力にみちた便利で快適なまち」の中で「自然と調和したコンパクトな都市構造と、道路網、鉄道網やバス路線のネットワークを充実するなど、だれもが便利に暮らせるまちを目指します。」としています。</p> <p>提案いただきましたことについて、今後、新たに北陸新幹線新駅設置を見据えたアクセス道路の検討や都市施設の整備方針の検討にあたって参考とさせていただきます。</p>

No	主な関連箇所	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
7	基本構想・将来都市構造	北陸新幹線の新駅設置に向けて、山手幹線の4車線化（京田辺市～八幡市1号線迄）が必要。歩道を含む4車線道路計画を作成し、新たに建造物を建てさせない規制を今から行う必要がある。	参考	基本構想p7、地域別のまちづくりの方向性、北部地域の中で「北陸新幹線新駅設置を見据え、そのインパクトを市全体の活力に生かせるよう準備を進めます。」としています。 提案いただきましたことについて、今後、北陸新幹線新駅設置を見据えたアクセス道路の検討にあたって参考とさせていただきます。
8	基本構想・将来都市構造	山手幹線を軸とし、同志社大北側から田辺西ICあたりに新商圈を作ってはどうか。城陽市に近々大型アウトレットが完成するため、このままでは市民の消費支出は他市に移るのではないか。	その他	本市では、北部、中部、南部の3つの拠点による利便性の高いコンパクトな都市構造と、これら3つの拠点を中心としたエリアを別途策定した京田辺市立地適正化計画において、都市機能誘導区域に定め、商業、医療、福祉等、都市の機能を誘導することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図ることとしています。
9	基本構想・将来都市構造	山手幹線を軸とした大型病院を誘致してはどうか。救急車がスムーズに入れることや、災害時に強いことが必要と考える。	その他	
10	基本構想・将来都市構造	南部地区の発展への提言として、市役所近くのグラントを普賢寺あたりに移動し人の流れをつくる。グラント跡地には中央公民館、文化ホール、大きな駐車場を作り、大きな災害時には避難所としての設備を備える。	その他	
11	基本構想・将来都市構造	南部地区の発展への提言として、普賢寺や高船、打田辺りの山に囲まれた農地を畜産、酪農に変換し、岩手県の小岩井牧場のような観光農園に変えることは出来ないか。農家も世代交代に突入しており農業を続けることは難しいと思う。	その他	普賢寺地域につきましては、自然共生ゾーンとして、自然と共生した暮らしが営まれる地域の形成を図りつつ、自然環境や景観の保全の取組みを進めてまいりたいと考えています。

No	主な関連箇所	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
12	基本構想・基本姿勢	<p>基本構想p8、基本姿勢（１）「魅力発信・参画と人のつながりによるまちづくりの推進」の中で「市民、事業者、大学、自治会、NPO、各種団体等と行政が市民生活やまちづくりに関わる情報を共有し、連携を深めることで、それぞれの役割と責任を果たしながら、<u>小学校校区単位等のまちづくり協議会を組織し、参画と協働によるまちづくりを進めます。</u>」と下線部分の追加を提案する。</p> <p>京田辺市の主な課題において、「地域活動やまちづくりを担う団体の取組みの活性化を図るため、活動意欲のある市民（団体）が活躍できる環境整備を進めることが求められています。」とあるように、基本構想とはいえもう少し範囲を広げ具体的に示すことにより、行政も組織の支援体制を確立していただきたい。</p>	追加・修正	<p>ご意見のうち、まちづくりの主体については、もう少し範囲を広げて記述することが必要と考え、「市民、事業者、大学、区・自治会、NPO、各種団体等と行政が市民生活やまちづくりに関わる情報を共有し、連携を深めることで、それぞれの役割と責任を果たしながら、参画と協働によるまちづくりを進めます。」に修正します。</p> <p>なお、２つ目の下線部分については、今後、関連施策の検討にあたって参考とさせていただきます。</p>
13	基本構想・基本方向 (1) 安全・安心	<p>基本構想 第４目指すまちの実現に向けて ２基本方向 (１) 安全で心安らぐ優しいまちの文中「防災・減災体制の強化や治水対策を推進する」のところに、防賀川の内水氾濫に対する対策、天井川の天津神川のうち府道22号と交差する水路橋の対策を、具体的に明示してはどうか。</p>	その他	<p>提案いただきました、具体的な場所の明示につきましては、関連する施策等の中で定めることを検討してまいります。</p>
14	基本構想・基本方向 (1) 安全・安心	<p>(主)八幡木津線同志社前から(都)新田辺一休ヶ丘線の交差する道路(府道22号)までの区間の歩車完全分離、歩道の整備。特に、田辺中学校に向かうJR同志社前から京都中央信用金庫までの区間、田辺小学校に向かう307号から田辺小学校に北上する区間。区画整理された三山木駅周辺のように安全に自転車や歩行者が通行できるよう、道路拡張、区画整理を希望する。</p>	参考	<p>基本構想p10、基本方向（１）「安全で心安らぐ優しいまち」の中で「…（略）…交通事故や犯罪のないまちを目指します。」としています。</p> <p>提案いただきましたことについて、今後施策事業の充実に向け参考とさせていただきます。</p>
15	基本構想・基本方向 (1) 安全・安心	<p>(主)八幡木津線同志社前から(都)新田辺一休ヶ丘線が交差するまでの区間、近鉄興戸駅、JR同志社前、防賀川等で街灯が設置されていない箇所が多く見受けられ、防犯面、交通面で安全とは言い難い。</p>	参考	

No	主な関連箇所	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
16	基本構想・基本方向 (1) 安全・安心	(主)八幡木津線の同志社前から北上する途中、防賀川工事の早期整備完了を希望する。	その他	防賀川の切下げに関する事業は、京都府の事業として本年3月に完了しました。府道から上流部における兩岸の道路等の整備は、市の事業として現在進めており、令和2年度に完了の予定です。
17	基本構想・基本方向 (1) 安全・安心	<p>今、国会で外国人材のさらなる受け入れを認める法案が可決され、京田辺市もそれによる影響で、さらに外国人が増加すると考えられる。外国人にとって本市が住みやすい市になるために、以下のような、英語の活用を求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市には一休寺など目玉となる観光スポットがあり、そこをもっと楽しんでいただくために英語ボランティアガイド等を発足させる。 ・英語でSNSを使って世界に発信するのも良い。 ・災害時に犠牲者を出さないようにするためには、英語で外国人を誘導して安全を確保しなければならない。そのため、日本語と英語の両方で書かれた防災メール等の作成が必要。英語の使用で外国人の安全安心が保障される。 ・英語を使用することで、本市は、より外国人にとって住みやすい楽しい国際都市になることができる。 	参考	<p>基本構想p10、基本方向（1）「安全で心安らぐ優しいまち」の中で「…（略）…国籍などにとらわれず、お互いの人権を認め合い、多様性を受け入れながら、だれもが平和に安心して暮らせるまちを目指します。」としています。</p> <p>提案いただきましたことについて、今後施策事業の充実に向け参考とさせていただきます。</p>
18	基本構想・基本方向 (2) 緑	府道22号線の一休寺道～田辺中学校交差点までについて、自動車のスピード制限や一方通行化等により、歩行者、自転車、コミュニティバスを優先にする。通園、通学、サイクリスト、観光客の往来を呼び、それとともに街道の昔ながらの風情を利用して観光スポット化していく。そのためにも今ある古い府道沿いの建物の保存、保全を応援する。（JR田辺駅南のマンボもぜひ残してほしい）	参考	<p>基本構想p10、基本方向（2）「緑に包まれた美しいまち」の中で「…（略）…良好な都市景観の形成やまちの美化活動を促進するなど、環境に配慮した美しいまちを目指します。」としています。</p> <p>提案いただきましたことについて、今後関連施策の検討にあたって参考とさせていただきます。</p>
19	基本構想・基本方向 (2) 緑	山城地方の歴史的景観である天井川を残してほしい。すでに切り下げられた川は仕方ないが、災害対策の改修は行っても、切り下げるのは風情だけでなく、それまでの文化も破壊されてしまい、高台からグリーンベルトのようにつながる景色はとても美しい。	その他	天井川につきましては、防災上の観点を重視し、引き続き切下げを促進してまいりたいと考えています。なお、切下げによって生じた土地を利用して、遊歩道を整備するなど、新たな地域交流の場として、市民が日常的に水にふれることのできる水辺空間の形成に取り組んでいます。

No	主な関連箇所	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
20	基本構想・基本方向（３）健康	大住ヶ丘公園横の旧污水处理場を壊し、跡地に高齢者が散歩がてらに気楽に立寄れる公営の喫茶ルームを設けたらどうか。運営はボランティアなどにまかせ経費は最小限に抑える。高齢者に優しい町として宣伝にもなる。	その他	北部地域では、宝生苑において、ご高齢の方に向けた取組みを進めているところです。大住ヶ丘の旧污水处理場につきましては、跡地の活用を目指して、これからも公的利用を検討してまいります。
21	基本構想・基本方向（４）文化・教育	都市像として「緑豊かで健康な文化田園都市」を目指す以上、少なくともしっかりとした音響設備が整い、ちょっとしたコンサート等が開催できる市民ホールが不可欠である。滋賀県守山市の市民ホールを見習うことも必要である。 今回の基本構想案に採用し、市議会にて正式承認の上、至急実行準備を取り進められるよう切望する。 音楽協会傘下の音楽好きの皆さんだけでなく、一般市民の方々も、今の中央公民館でのいろいろの催しで、簡易組み立て椅子を、その都度設営するなどで、出演者のみならず参加者も、お手伝いするなどされていますが、そうしたすべての方々からも大いに賛同を受けられると思われる。 文字通り本物の「文化田園都市」に早くなりたいものである。	趣旨記載	基本構想p11、基本方向（４）「子育てしやすく未来を育む文化薫るまち」の中で「市民が文化に気軽にふれ、活動できる機会を充実するなど、京田辺らしい文化を創造し未来へ継承する、文化の薫るまちを目指します。」としています。 さらに、基本構想p5、都市構造、中核拠点の中においても「近鉄新田辺駅及びＪＲ京田辺駅周辺については、本市の中核的な拠点として…（略）…文化拠点機能などの集積と都市基盤の整備・充実を図ります。」としています。
22	基本構想・基本方向（４）文化・教育	市に文化ホールが無く、いつも別のホールを間借りしている。音楽、コンサート、発表会等には、わざわざ遠方のホールを借りたりもしている状況で、遠方であれば年配の方を招待することが難しかったり、公民館のホールでは、音響効果や椅子の運び出しの問題もあるため、設備の整ったホールが、是非とも必要である。	趣旨記載	

No	主な関連箇所	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
23	基本構想・基本方向（４）文化・教育	<p>田辺中央の文化拠点造成について、文化ホールは収容人数800人程で、木、石、土などを使った観客を包み込むようなホールとし、マイクを使わずとも声が響くホールを作っていただきたい。</p> <p>商業施設は自然食料品（自然派の小売店、農場レストランなど）、地産地消の食料、衣料品の販売などを行っていただきたい。</p> <p>施設の建材、外見がコンクリート一辺倒にならないようお願いしたい。プラネタリウム、歴史博物館なども想像できるが、採算が合わないだろうから、上記の２施設を計画していただきたい。</p>	参考	<p>基本構想p11、基本方向（４）「子育てしやすく未来を育む文化薫るまち」の中で「市民が文化に気軽にふれ、活動できる機会を充実するなど、京田辺らしい文化を創造し未来へ継承する、文化の薫るまちを目指します。」としています。</p> <p>また、基本構想p5、都市構造の中核拠点の中で「近鉄新田辺駅及びＪＲ京田辺駅周辺については、本市の中核的な拠点として…（略）…文化拠点機能などの集積と都市基盤の整備・充実を図ります。」としています。</p> <p>提案いただきましたことについて、今後関連計画の検討にあたって参考とさせていただきます。</p>
24	基本構想・基本方向（４）文化・教育	<p>京田辺市には多様な教育機関があるが、その多様さを保つためには費用がかかる。各教育機関は素晴らしい教育を行っていることから、京田辺市を教育特別区（ESD実践）に定めて、各教育機関の赤字を補填するべき。</p>	その他	<p>本市では、質の高い学力と豊かな人間性、たくましく健やかな体をはぐくむなど、教育大綱に掲げられた教育方針に基づき、一人一人が輝く京田辺っ子の育成を進めています。</p>
25	基本構想・基本方向（４）文化・教育	<p>運動の関係で、施設の予約を取るのに、体育館まで行って書類を書き、お金を払っている。他の多くの市では、ネット予約が出来るのに、なぜ未だに出来ないのか。北陸新幹線の新駅よりも、今、必要としていることをよく検討していただきたい。</p> <p>若い人が、大勢増えている中、子供達にも誇れる様なまちになるようお願いしたい。</p>	参考	<p>田辺中央体育館等の運動施設につきましては、現在、ＮＰＯ法人京田辺市社会体育協会を指定管理者として、施設を運営しています。</p> <p>提案いただきましたことについて、今後運動施設における市民の利便性向上の検討にあたって参考とさせていただきます。</p>

No	主な関連箇所	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
26	基本構想・基本方向（５） 田園都市	<p>「京田辺市役所を核にして、公共公益施設が集積する地区を交流機能拠点とします。」「山手幹線や国道307号などの交通機能を生かして市民が集い、憩い、交流する場として機能の充実を図ります。」とあるが、実現するためには、市主導のもと、国道307号を境に定まっている京阪バスと奈良交通バスの運行ルートの見直しが不可欠である。</p> <p>松井山手一同志社山手間に路線を新設することによる期待される効果・・・①同志社山手方面から市役所や中央公民館等の公共施設へは「田辺公園プール」で下車して徒歩で行ける距離になり著しく便利になる。②学生の利用が増えることが予想されるとともに、市民にとっても同志社大学との交流・連携がより図れる。等々</p> <p>市役所や体育館、プール、公民館などが集積された地区に市民が容易に行けるように交通網を整備することは、子育て世帯にとっても切実な要求であり、北部の大規模住宅地で後期高齢者が増え運転免許証を返納されることが予想される今日、行政として取り組むべき最重要課題である。</p>	参考	<p>基本構想p11、基本方向（５）「活力にみちた便利で快適なまち」の中で「・・・（略）・・・道路網、鉄道網やバス路線のネットワークを充実するなど、だれもが便利に暮らせるまちを目指します。」としています。</p> <p>提案いただきましたことについて、今後さらなるバス交通の充実に向け参考とさせていただきます。</p>
27	基本構想・基本方向（５） 田園都市	<p>山手幹線を軸としたバス路線の新設が必要。松井山手⇒新田辺駅⇒市役所⇒同志社大学⇒三山木駅をつなぐことで、南部、中部、北部の市全体の発展を促進すると考える。</p>	参考	
28	基本構想・基本方向（５） 田園都市	<p>バスの増便を要望する。京阪バスの樟葉～新田辺間の減便を元に戻す。ある市議は、京阪バスに松井山手～大住ケ丘～新田辺～市役所の循環バスの要望をされたようだが、その路線に加えて山手幹線縦断のコミュニティバスを創設していただきたい（（摂南大北口）～松井山手～大住ケ丘～一休寺～市役所（プール）～同大正門～同志社山手～精華町役場～国会図書館（～学研奈良登美ケ丘））。</p> <p>北陸新幹線についても十分審議を行っていただきたい。資金を新幹線一辺倒ではなく市営バス創設にも使い、上記の２路線や、他の地区を結ぶ路線を創設するという案も検討していただきたい。京阪バスへ新田辺駅での近鉄の急行（西大寺方面）との接続を再考することも要望願いたい。</p>	参考	

No	主な関連箇所	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
29	基本構想・基本方向（５） 田園都市	活力にみちた便利で快適なまち＜田園都市＞について・・・３本の大きな高速道路が通過する本市は大きな広域圏の渦中に入っており、そのような中で、本市はコンパクトな都市構造を目指すのではなく、周囲の市町と連携を図り、都市構造についても、京都府南部地域だけではなく大阪府の北部や、滋賀県南部・奈良県北部を含めた広域的なまち作りが必要である。	その他	本市においても、将来的には人口減少に転じると予想されており、公共交通や生活利便施設のサービス水準を維持するためにも、人口密度を一定以上に保つことが必要と考え、今後もコンパクトな都市構造を維持していきたいと考えています。 なお、産業振興や観光振興等の分野においては都市間連携が必要と考えています。
30	基本構想・基本方向（５） 田園都市	J R 学研都市線松井山手から三山木区間の複線化を希望する。	趣旨記載	基本構想p11、基本方向（５）「活力にみちた便利で快適なまち」の中で「・・・（略）・・・道路網、鉄道網やバス路線のネットワークを充実するなど、だれもが便利に暮らせるまちを目指します。」としています。
31	基本構想・基本方向（５） 田園都市	休耕田を貸田圃にして農家を志す青少年を旧村の空き家で受け入れる体制をつくるべき。ホームステイ制でもよい。新たな宿泊施設は不要。農具も今まで農家のみなさんが使ってこられたものを研磨して使う。	その他	本市では、特産品であるナス・エビイモの新規就農者の育成塾をはじめ、新規就農者と農業後継者の確保を進めるための取組みを支援しています。
32	基本構想・基本方向（５） 田園都市	相楽郡や宇治田原町、川上村（奈良）などで行われているような移住キャンペーンを行うべき。旧村に移住しやすい環境づくりや新たな宅地開発を止めるべく建て替えによる新居づくりの推進を求める。	その他	本市では、今後も、自然環境、人々の暮らし、都市機能が調和したまちづくりを進めるとともに、既存の住宅地における空き家対策を講じてまいります。

No	主な関連箇所	ご意見の概要	対応	ご意見に対する考え方
33	基本構想・基本方向 (5) 田園都市	山手幹線の延伸をはじめ、山林が多く失われている。一休寺も景観が危機的と感じる。田畑も含めて乱開発は食い止めてほしい。又、空の広い京田辺に高層ビルが建たないよう願う。	その他	本市では、今後も、自然環境、人々の暮らし、都市機能が調和したまちづくりを進めてまいります。
34	基本構想・基本方向 (5) 田園都市	これまで京田辺市では大住ヶ丘や松井ヶ丘の造成などによって人口増加、活気に満ちた町として栄えてきたが、イノシシやサルによる被害、空気汚染などの弊害も出てきた。そこで、2018年度内に決定している造成計画をもって新たな大規模都市開発、特に森林伐採を伴う開発を当面凍結願いたい。道路の老朽化による補修や施設の設備改善、文化教育、スポーツ教育など他に多額の公的出資が必要であるから、そちらへ資金を回していただきたい。人口増加に対する宅地は空き家活用や二世帯、三世帯住宅推進で賄うべき。	その他	
35	その他	政治において中央政府の意向に審議なしに迎合しない。住民第一の政治、住民の声を反映させた政策を望む。 京田辺市の中で経済循環のシステムを作るべき。松井山手駅周辺の商業施設の早期全面開業を望む。	その他	本市では、市民参画と協働によるまちづくりを進めるとともに、産業が持続的に発展するまちを目指してまいります。